

# 風 からの (現場) フィールド

宮田守男

野球で世界の本塁打王と評される王貞治さんの言葉に「努力は必ず報われる。報われない努力があるなら、それはまだ努力と呼べない」がある。12月は、

この一年を振り返って自身を見つめる機会でもある。

風刺的な作風で知られるイタリヤの芸術家の作品の、房から一本もいで壁に灰色のテープで貼った「バナナとテープ」を、中国の起業家が日本円で9億6000万円で落札し、バナナを食べたとの情報に、既存の価値に何を見出すのか考えてしまおう。

この5カ月間、自身の健康と医療現状を知る機会を体験した。7月に村が実施した健康診断の前立腺がん検査で、更に詳しい検査を必要とする通知書を受

## 地域発展の観点から身近な医療現状を考えよう

受診し、ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術の実績のある長野赤十字病院にて10日間の入院により手術して無事退院することができた。多くの皆さんに医療現状を伝えたい。

前立腺がんは初期にはアメリカ本土またはア

け取った。何の兆候も無かったので驚き市立大町総合病院を受診、造影CT・MRI検査と前立腺針生検をし、がん転移の有無を確認するため「まつもと医療センター」で核医学検査の骨シンチ検査を

メリカ空母に滞在中の医師によって、遠隔操作で外傷者に対して必要な手術を行う目的で開発された遠隔操作可能な医療用ロボット。ダビンチによる。手術日翌日には室内歩行が可能になり、2日目から流動食がスタートし7日目に常食。そして8日目に退院。自宅で簡単な作業ができるなど医学の進歩に驚く。

今後多くの症例で保険適用範囲が拡大すればダビンチによるロボット手術は急速に普及し、あっという間に標準治療になるに違いない。大北地域も多様なお客さまを迎えるた

めに、多くの人材が求められる。それには地域で標準医療可能な医療の充実が不可欠だ。安心して暮らせる地域

づくりを求めてほしいものだ。(信州地域社会フォーラム会員・白馬村 村上)

ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術  
ロボット支援の手術は、手術精度が高く、手術時間短縮、患者様の負担軽減、術後回復の早さなど、多くのメリットがあります。また、手術は遠隔操作が可能で、遠隔地から手術を行うことも可能です。当院では、2012年4月より保険適用となり、標準治療とされています。

冊子「前立腺がんのすべて」に記載された治療法の説明

